

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成21年1月8日(2009.1.8)

【公開番号】特開2006-119311(P2006-119311A)

【公開日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【年通号数】公開・登録公報2006-018

【出願番号】特願2004-306259(P2004-306259)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/16 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/16

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月13日(2008.11.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

トナー像を担持する像担持体と、

前記像担持体にトナー像を形成する手段と、

前記像担持体上のトナー像を記録材へ転写する転写手段と、を有する画像形成装置において、

前記転写手段に付着するトナーを静電的に除去するクリーニング手段を有し、

前記トナー像を形成する手段が形成可能な画像の幅をL1、前記転写手段の幅をL2、

前記クリーニング手段の幅をL3とするときに、

L2 > L3 > L1

を満たすことを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

L3 - L1 0.5 [mm]を満たすことを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記クリーニング手段は、前記転写手段からトナーを静電的に回収するファーブラシと

前記ファーブラシからトナーを静電的に除去するローラと、

前記ローラからトナーを掻き取る掻き取り部材とを備え、

前記ファーブラシの幅をL3、前記ローラの幅をL4、前記掻き取り部材の幅をL5とするとき、

L4 > L5 > L3

を満たすことを特徴とする請求項1又は2に記載の画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明は、トナー像を担持する像担持体と、前記像担持体にトナー像を形成する手段と

、前記像担持体上のトナー像を記録材へ転写する転写手段と、を有する画像形成装置において、前記転写手段に付着するトナーを静電的に除去するクリーニング手段を有し、前記トナー像を形成する手段が形成可能な画像の幅をL1、前記転写手段の幅をL2、前記クリーニング手段の幅をL3とするときに、 $L_2 > L_3 > L_1$ を満たすことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

図8に示すように、搔き取り部材21は、その幅(二次転写ローラ5の幅L2方向の長さ)L5が静電ローラ20の幅(二次転写ローラ5の幅L2方向の長さ)L4よりも狭く($L_5 < L_4$)、かつ搔き取り部材21の幅L5が静電ローラ20の幅L4内に収まるように配置される。これにより、搔き取り部材21が静電ローラ20に幅方向(二次転写ローラ5の幅L2方向)に均一の圧力で接することができる。また、搔き取り部材21は、その幅L5がファーブラシ22の幅(二次転写ローラ5の幅L2方向の長さ)L3よりも広く($L_5 > L_3$)、かつファーブラシ22の幅L3が搔き取り部材21の幅L5内に収まるように配置される。これにより、静電ローラ20に回収される転写残トナーを確実に搔き取り部材21で搔き落とすことができる。